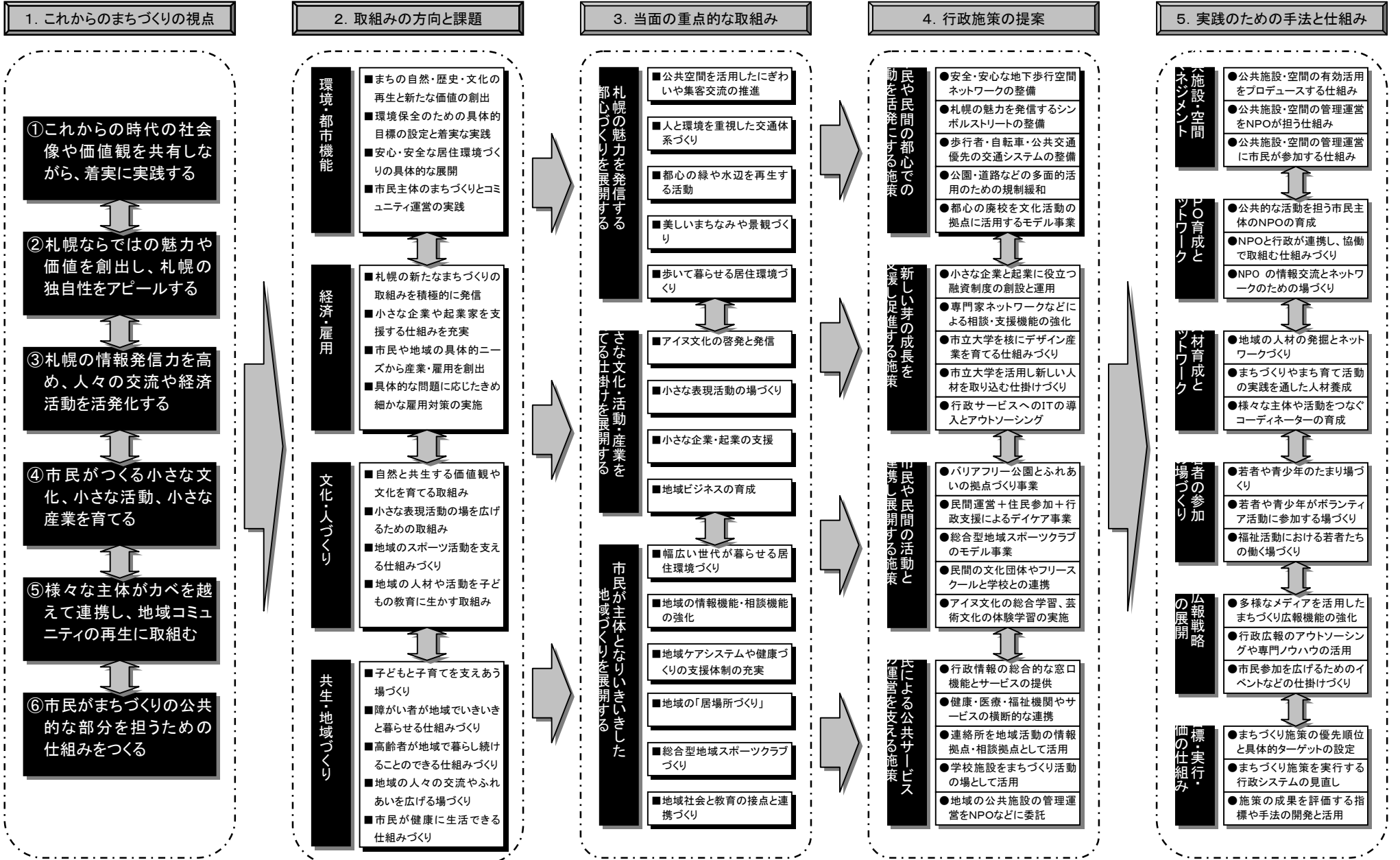


札幌新まちづくり計画市民会議 分科会中間報告(4分科会の論点の全体整理)



1. これからのまちづくりの視点

(視点1)
将来を見すえた産業振興のビジョンと戦略を描き、ターゲットを絞って施策を展開する

(視点2)
札幌の新しい都市イメージを積極的にアピールし、札幌の情報価値を高める

(視点3)
足元をしっかりと見極めて実効性のある経済対策、雇用対策を実施する

(視点4)
産業振興策を実行する仕組みと成果を評価する新たな仕組みをつくる

2. 取組みの方向と課題

(方向1) 札幌の新たなまちづくりの取組みを積極的に発信
札幌のまちづくりの独自性をアピール
観光客を引き込むまちの魅力づくり
従来の発想や構造を大きく変える視点

(方向2) 小さな企業や起業家を支援する仕組みを充実
零細企業の成長を支援するシステム
小さな産業の芽を伸ばす仕掛け
起業を促進する相談・サポート機能

(方向3) 市民や地域の具体的なニーズから産業・雇用を創出
健康・医療・福祉ニーズに応える産業
公共的サービスのアウトソーシング
ITを活用したコミュニティサービス

(方向4) 具体的な問題に応じたきめ細かな雇用対策を実施
雇用問題の相談・指導機能の充実
雇用のミスマッチの具体的な状況の把握
NPO等の雇用面のトラブルへの対応

3. 当面の重点的な取組み

情報発信力の強化
●札幌独自の芸術・文化を積極的に活用し、発信する
●魅力的な街並みや景観づくりを戦略的に展開する
●デザイン産業を育てる仕掛けづくりを展開する
●札幌ブランドを熟成していくための活動を展開する

小さな企業・起業の支援
●新しい技術や事業を評価する仕組みをつくる
●コーディネータの役割を担う人材を養成する
●専門家ネットワークによる相談・支援機能を強化する

地域ビジネスの育成
●ITを活用し、行政サービスの質と効率を向上する
●地域に根ざした健康・医療・福祉ビジネスを育成する
●地域ビジネスの中で身近な雇用機会を創出する

4. 行政施策の提案

まちづくりの個性を資源の活用と活動の促進
●芸術・文化資産などを集客交流資源として活用
●自然環境や公共空間を活用した景観づくりを推進
●市立大学を核としたデザイン産業育成の仕組み
●新しい人材を大胆に取り込む仕掛けづくり

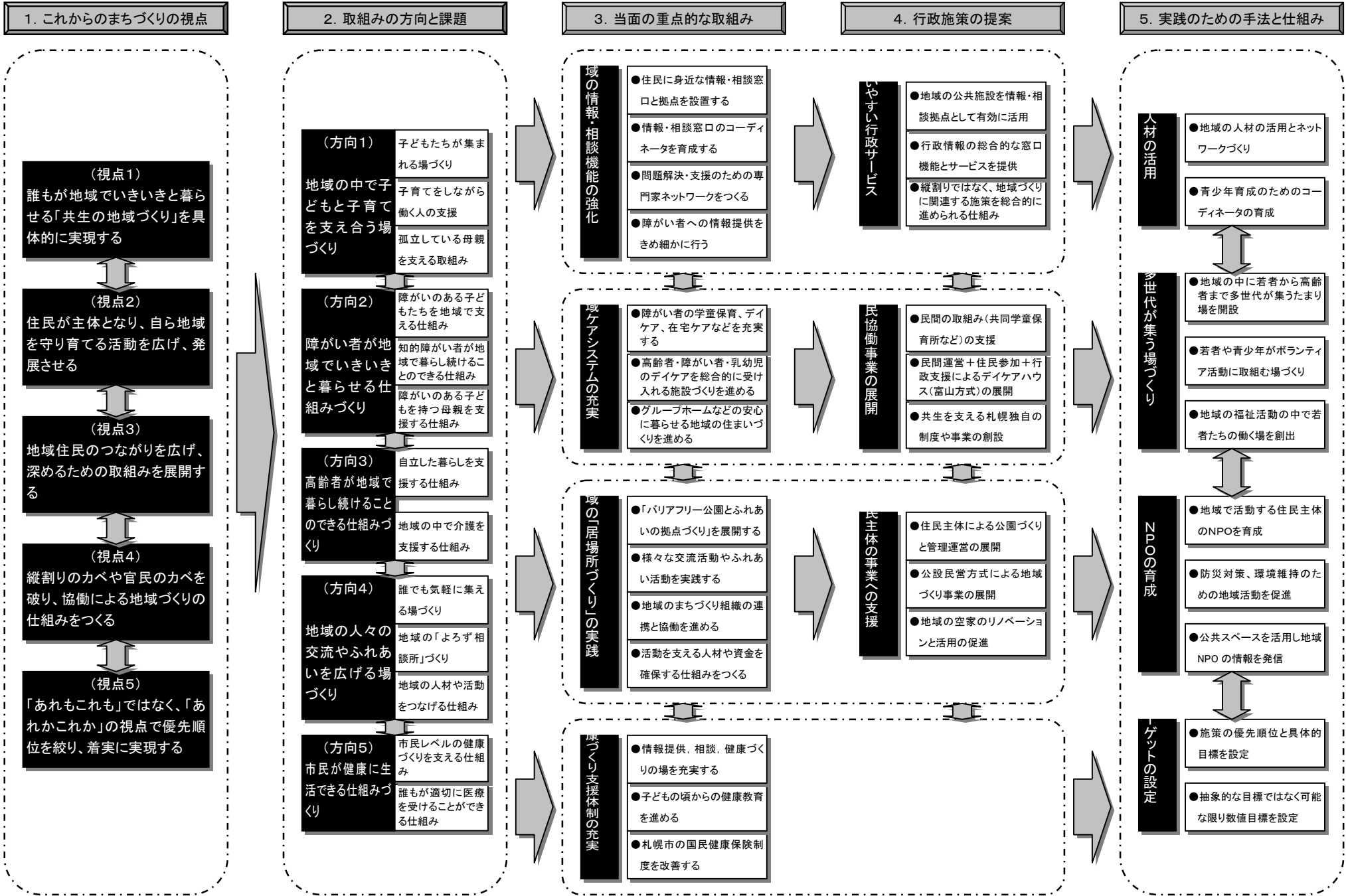
このやり方は違う
元気基金・活用
●小さな企業・起業を支援する元気基金などの制度設計と運用
●中小企業支援センターなどの機能の強化・見直し
●専門家ネットワークを構築するための仕組みづくり

産学官連携した取組みの工夫
●行政サービスのアウトソーシングを推進
●行政サービスへのITの導入を推進
●健康・医療・福祉機関の連携体制づくり
●公共的サービスを担う人材育成のプログラムづくり

5. 実践のための手法と仕組み

業振興策を実行する仕組み
●産業振興財団の役割と業務の点検と評価
●財団が果たす役割・使命の明確化
●新たな人材の投入などによる組織の活性化と市民に目を向けた画期的な活動の展開

業振興策を評価する仕組み
●産業振興策の成果を評価する新しい仕組みづくり
●成果を評価する指標や手法の開発を推進
●評価結果を施策の見直しや新たな施策に活用するシステムづくり



1. これからのまちづくりの視点

(視点1)
札幌の自然・風土・歴史・文化を大切にしたい美しいまちづくりを進める

(視点2)
魅力的なまちづくりを人々の交流や経済活動の活性化に結びつける

(視点3)
サステナブルシティをめざした具体的な取組みを実践する

(視点4)
地域コミュニティを育成するためのまちづくり活動に市民主体で取組む

(視点5)
まちづくりの公共的な部分を市民が担うための仕組みをつくる

2. 取組みの方向と課題

(方向1) 快適な環境づくり
(自然、景観など)
まちの自然・歴史・文化の再生と新たな価値の創出
古い建物・街並み・文化の保存と活用
フィルムコミッションの展開

(方向2) 環境負荷の少ないまちづくり
環境保全のための具体的な目標の設定と着実な実践
コンパクトシティ化の推進
人と環境を重視した交通システムへ転換

(方向3) 地域で住みつけられる環境づくり
安心・安全な居住環境づくり
福祉のまちづくり(バリアフリーなど)
北方型まちづくり(雪対策など)

(方向4) 空洞化・高齢化の進む地域の再生
市民主体のまちづくりとコミュニティ運営の実践
地域の中心や拠点の機能の向上
市民の公共的意識や活動の活性化

3. 当面の重点的な取組み

魅力的な都心のまちづくりに取組む

- 公共空間をにぎわい創出や国際的な集客交流の場として活用
- 駅前通と大通を札幌の魅力のシンボルストリートに再生
- 都心の緑や水辺を再生するための活動を進める
- 都心の近くに歩いて暮らせる居住環境づくりを進める
- リノベーションの中で魅力的な環境・景観・空間を創出
- まちなみの景観に配慮した風格あるまちづくりを進める

環境への負荷が少ないまちづくりに取組む

- CO2 排出や廃棄物を削減する取組みの推進
- 省エネルギーの推進と新エネルギーの活用促進
- 歩行者・自転車・公共交通優先の交通体系やシステム

地域コミュニティの再生に取組む

- 地域の住民が集まり交流する場をつくる
- 地域の住民が地域の情報を共有する仕掛けをつくる
- 幅広い世代が暮らせる居住環境づくりを進める
- 高次都市機能拠点、広域交流拠点や地域中心核の育成・整備を図る

4. 行政施策の提案

規制改革

- 公園や道路などの多面的活用に関する規制緩和

公共空間整備

- 都心の廃校を市民の多様な活動の場として活用
- 安全・安心な地下歩行空間ネットワークを整備
- 歩いて楽しい空間として札幌駅前通を再整備

美しい都市

- 広告・看板類の整理、総合的なサイン・案内類の計画や無電柱化の推進
- 魅力的な緑や建築物のガイドラインの検討

エネルギー・気候変動

- 省エネルギー型の雪対策やコジェネレーションシステムの推進

総合

- リサイクル推進による廃棄物削減やごみ置き場の美化
- 快適な公共交通の実現、TDMの推進や自転車の利用しやすいまちづくり

住民自治

- 連絡所を地域のまちづくり活動の拠点として活用
- 学校施設を住民のまちづくり活動の場として活用

システムづくり

- ライフサイクルに応じた住み替えを支援するシステム
- 建物のリノベーションやコンバージョンを促進する制度やシステム

5. 実践のための手法と仕組み

公共空間の活用

- 札幌TMOが都心の公共施設・公共空間の活用をマネジメントする仕組みづくり
- 都心の公共施設・公共空間を市民NPOが管理・運営する仕組みづくり

まちづくりの推進

- 多様なメディアを活用し、市民への情報発信を展開
- 市民参加を広げるためのイベントの活用(ごみ分別等)
- 行政広報のアウトソーシングや専門的な人材の起用

人材の育成と活用

- 公共空間と個人との関わり方やまちづくりについて学ぶ場やしくみをつくる(学校教育の活用やまちづくり読本の配布等)
- まちづくりやまち育で活動の実践を通じた人材育成

地域活動の推進

- 地域の公共施設・公共空間を住民やNPOが管理運営するモデル事業を展開(公園、図書館など)
- 地域通貨を活用したコミュニティ活動の運営に関する実験的取組みを実施

